



令和7年度春の花壇コンクール宇部市長賞

宇部市

花づくりガイドブック



令和6年度秋の花壇コンクール宇部市長賞

目次

準備編

1 花づくりカレンダー	-----	3
2 栽培計画を思い描こう		
1 栽培場所の環境を知ろう	-----	5
2 栽培する植物の種類を考えよう	-----	6
3 開花時期からイメージしてみよう	-----	6
4 花の色からイメージしてみよう	-----	7
5 草丈からイメージしてみよう	-----	7
6 お手入れ方法からイメージしてみよう	-----	8
7 植物のとりあわせを楽しもう	-----	8
3 道具の準備をしよう		
必要な道具	-----	9
苗を育てる（種まき）道具	-----	10
プランター（鉢）の選び方	-----	11
ちょっと休憩コラム	-----	12

実践編

1 土壌を整えよう

土の状態を知ろう ----- 13

土づくりをしよう ----- 14

2 苗を準備しよう

種からの苗づくりに挑戦しよう ----- 16

3 苗を植えつけよう

植えつけの基本 ----- 21

花壇・植樹帯への植えつけ ----- 22

4 苗を植えてからの日々のお手入れ

1 水やり ----- 23

2 除草 ----- 23

3 肥料 ----- 24

4 花がら摘み ----- 25

5 摘心・切り戻し ----- 25

6 病虫害対策 ----- 26

5 花が終わったあとのお手入れ

1 種とり ----- 27

2 株分け（多年草・宿根草） ----- 27

3 あとかたづけ（一年草・球根） ----- 28

付録編

ガーデンデザイン実例集 ----- 29

花づくり植物図鑑 ----- 31

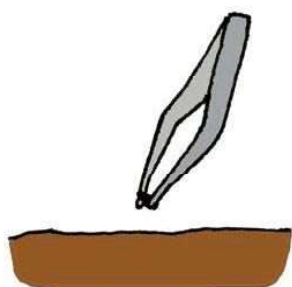
花づくりカレンダー

ここでは、一年草の花苗を種から育て、花壇に植え付け、花が終わるまでのスケジュールを紹介しています。苗を購入する場合は、「**花壇などの準備**」からスタートしましょう！

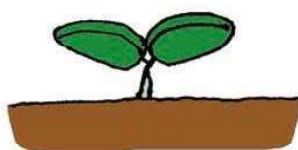
種をまいてから開花するまで、おおよそ2～3ヶ月かかります。花壇に花を植える時期を決めて、種のまきどきを検討しましょう。

花壇を楽しむ時期		種類		
夏から秋	春まき一年草	9～10月	10～11月	
冬から春	秋まき一年草	4～5月	5～6月	
		種まき	発芽・生育	
		種まき	発芽までの手入れ	発芽後の手入れ
		花壇などの準備 土づくり		

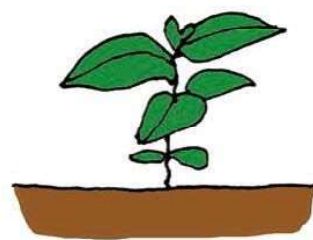
サルビア（一年草）の生育サイクル



種まき

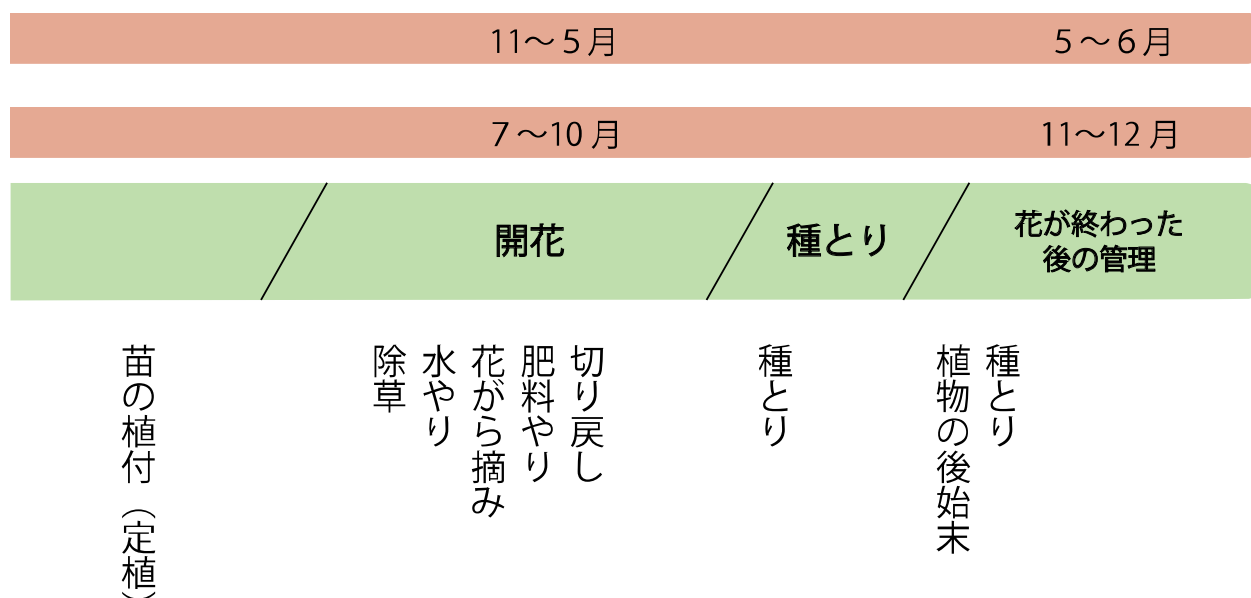


子葉（双葉）

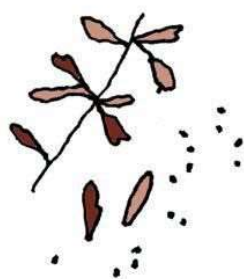


本葉

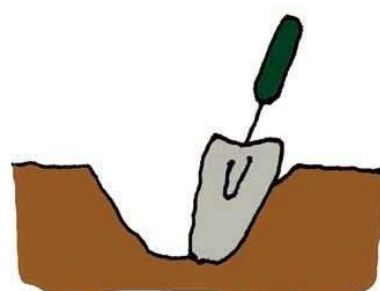
一年草をメインとした花づくりでは、
 植え替えのサイクルは年2回です。
 花づくりの始めどきは、種まきからの場合は4～5月、9～10月、
 苗の購入から始める場合は5～6月、10～11月です。



開花



種とり



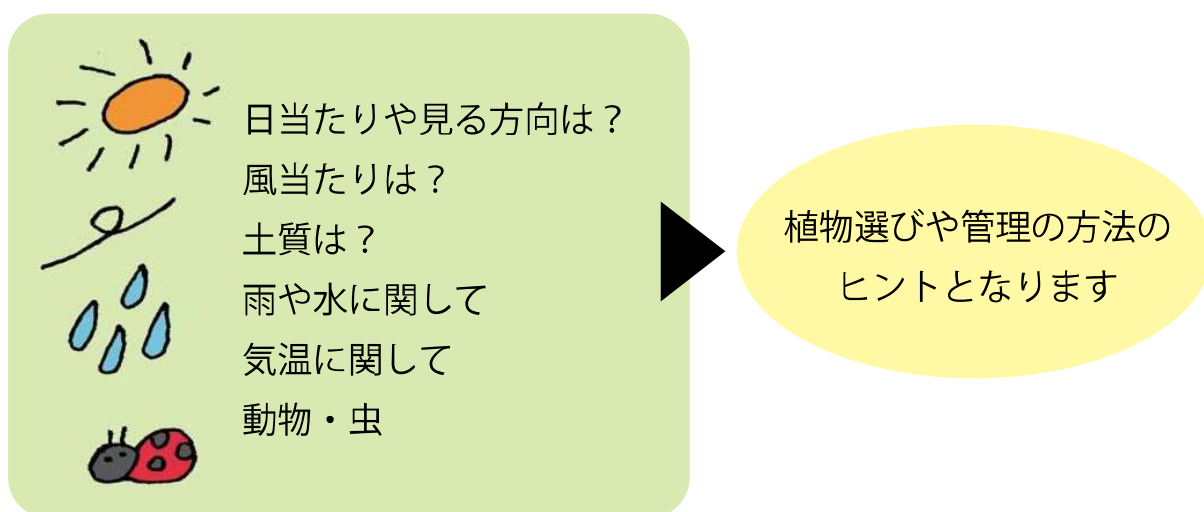
あとかたづけ

栽培計画を思い描こう

植物を育てるには、まず植えたい場所の環境を把握し、季節に合わせて花の色や構成などを考え、その条件に合致した植物を選定します。
順を追って栽培の計画を立ててみましょう！

1 栽培場所の環境を知ろう！

栽培場所によってとりまく環境や条件はそれぞれ異なるため、ふさわしいデザインや適する植物が異なります。花づくりの前に栽培場所がどんな環境なのか、改めて整理してみましょう。



●対象となる花壇をどこから見るのか、日の当たり方は、風の通り道は、等の条件を考えましょう

●歩道の街路樹などに植える場合は、家庭の庭と違って維持管理の頻度も少なく、土壌条件や排気ガス、街路樹による日陰など条件が悪い場合が多いため、丈夫な性質の花苗を選ばなければ上手に育たないことがあります。

2 栽培する植物の種類を考えよう！

●1・2年草

群植されて引き立つことを目的に栽培されることが多いので、花つきが密で色彩の華やかなものが多い。

●宿根草（多年草）

手がかからない種類が多く、混植等を行うときはその性質を合わせることも重要。

●球根類

群植にすることが多い背丈が低い小型球根。秋植え球根、春植え球根等。

●その他（低木、地被等）

花や実を楽しむカラーリーフやコニファー等。

3 開花時期からイメージしてみよう！

日本には四季があるので、一年中咲き続ける花はありません。

四季折々で花を植え替えていくことで花壇を良い状態に保ちましょう。

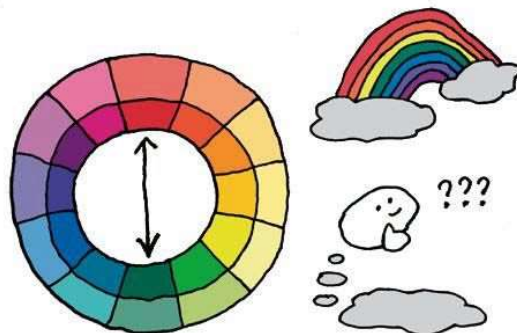
（例）一年草の開花時期

花壇で楽しむ時期	夏から秋	冬から春
草花の例	サルビア、ペチュニア マリーゴールド など	パンジー、ビオラ デージー など
使い方	暑い夏を乗りきる花壇に	寒い冬を乗りきる花壇に

4 花の色からイメージしてみよう！

目的（テーマ）に沿って、花壇の彩りを考えましょう。彩りを考える上で重要なことは次の4点です。

- 色の統一感や強弱を考える
- ポイントを配置する
- 日なたと日陰の見え方を考える
- 花と一緒に葉色も考える



花がまちまちに用意され、複数の色でまとまりがつかないときは、「つなぎ」として間に白色やクリーム色の花を割り込ませると全体的にまとまりやすくなります。その場合、入れすぎないように注意しましょう。

5 草丈からイメージしてみよう！

草丈の高いものを奥、草丈の低いものを手前に配置すれば、狭い花壇でも立体的に見せることができます。

	夏から秋	冬から春	
高 ↑	ヒマワリ コスモス ブルーサルビア センニチコウ サルビア・スプレデンス ジニア ニチニチソウ ペチュニア マリーゴールド バーベナ ポーチュラカ	キンギョソウ ストック ノースポール ビオラ・パンジー キンセンカ ワスレナグサ プリムラジュリアン アリッサム	手前 ← → 奥
↓ 低			

6 お手入れ方法からイメージしてみよう！

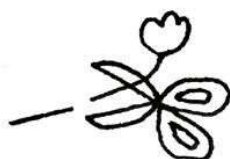
植物にあった管理を行えば、鑑賞期間は驚くほど長くなります。それぞれの植物で、どのような管理方法が必要か整理しましょう。

花から摘み



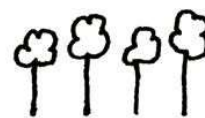
パンジー、デージー
マリーゴールドなど

切り戻し



ペチュニア、ナデシコ
キンギョソウ、サルビアなど

管理不要



メランポジウム、ハボタン
ノースポールなど

7 植物のとりあわせを楽しもう！

一年草と宿根草・球根類の組み合わせ

それぞれの花の特徴を活かして季節感のある華やかな花壇づくりを行います。

立体感のある組み合わせ

生長速度や植え込み条件等を考えて組み合わせます。植樹等の場合は街路樹とのバランスや植栽場所を良く考えましょう。

質感を活かした組み合わせ

形状や質感の違う植物を組み合わせ、メリハリのある花壇を作りましょう。

相性の良い組み合わせ

花葉の形態や開花時期などが似ている植物を組み合わせます。

道具の準備をしよう

花づくりに必要な道具はほとんどがホームセンターで購入できます。

必要な道具

スコップ



大型のスコップは、花壇のある家庭ではぜひ揃えたい。

移植ごて



園芸用の小さなシャベルのこと。丈夫なものを選びましょう。

ジョウロ



ハス口を取り外せるものが便利

目的によって使い分けよう
ハス口の上手な使い方

●下向き
狙った場所に確実に。
花壇や大きなコンテナに。

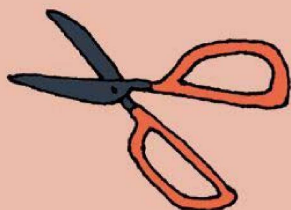


●上向き
柔らかくふわっと。
幼苗の芽や葉に。

●ハス口をとって
口に手を当てて。
葉が繋がっている
コンテナに。

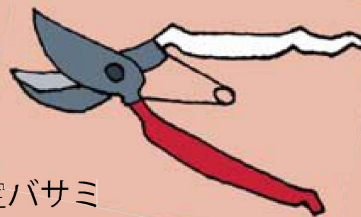


はさみ



●花バサミ
花がら摘みや細い枝の切り戻しに。

切れ味が悪いとダメージを与えるので専用のものを選びましょう。

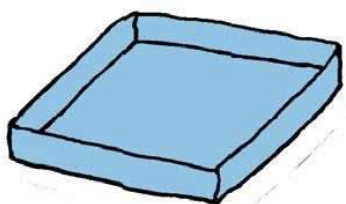


●剪定バサミ
鉛筆よりも太い枝に。
刃は非対称なので持ち方に注意。

苗を育てる（種まき）道具



セルトレイ
セル穴□サイズ：約 45mm



バット
(セルトレイが入る大きさ)



花の種



ピンセット or 竹串



種まき用の土



バーミキュライト
(覆土用)



新聞紙



霧吹き

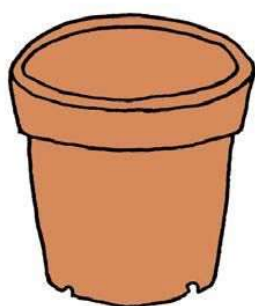


液体肥料

プランター（鉢）の選び方

鉢の種類

素焼き鉢



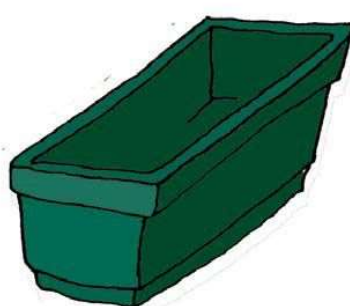
粘土を低温で焼いた鉢。排水性・通気性に優れているが、重くて壊れやすい。

プラスチック鉢



軽くて丈夫。鉢壁には通気性も排水性もないので、素焼き鉢に比べ過湿状態が続く。

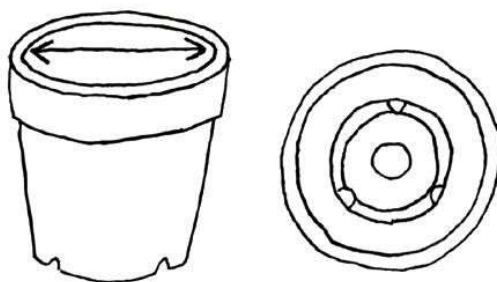
650 型プランター



もっとも一般的なプランターで、長さがほぼ 65cm なのでこの名前と呼ばれる。

鉢の大きさ

鉢のサイズは、「号」という単位で表します。1号は3cmで、例えば4号なら $4 \times 3 = 12\text{cm}$ で、直径12cmの鉢ということになります。20号という大きい鉢もあるが、一般に使うことが多いのは2～13号くらいです。



ちょっと休憩コラム

「ガーデンシティうべ」って何？

ガーデンシティとは「庭園のような都市」を意味する単語です。宇部市ではこれまで「緑と花と彫刻のまちづくり」を官民が一体となって取り組んできたことから、「花を育てよう」「花を飾ろう」という市民文化が育まれています。このような宇部市の誇れる取り組みを次世代に継承し、さらに持続的に発展させていくための新たなステージとして、市民自らが楽しみながら「ガーデンシティうべ」を目指すこととしました。他都市に誇れる魅力ある都市空間を創出するための「ガーデンシティうべ」の取り組みを全市的に展開していくために 2018 年に構想を策定しています。



花壇コンクールに参加してみよう！

花であふれるまちづくりの一環として、花壇コンクールを春・秋の年 2 回実施しています。花壇コンクールは昭和 33 年（1958 年）に 20 団体が参加して実施され、昭和 35 年（1960 年）に「花壇コンクール実施要領」を定め、年 2 回春と秋に実施することや、参加された団体には、市の苗圃で育てた花の苗を無償で配付すること等を決めました。現在では、多くの団体の参加があり、春の花壇コンクール用の花として、キンセンカやノースポール等の苗を、秋の花壇コンクール用の花として、サルビアやマリーゴールド等の苗を春・秋それぞれ約 30 万本配付し、道路や公園、学校、事業所などで咲き誇り街の彩りとなっています。

花壇コンクールの参加は随時募集していますので、ぜひご参加下さい。



土壌を整えよう

土の状態を知ろう！

よい土の見分け方

土の粒と粒が団子状にくっついた大きな粒を団粒といいます。団粒構造の土は、粒の細かい単粒に比べ、排水性と保水性を兼ね備え、通気性も高いです。団粒構造かどうか、排水性が高いかどうかは簡単な方法でチェックできます。

・土を握ってみる



1 適度に湿った土を手に取り、ギュッと握ってみる。

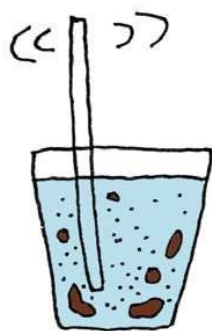


2 固まったら保水性がよい土、固まらなかったら保水性が悪い土。



3 固まった土を指で軽く押し、くずれたら団粒構造の土、くずれなかったら単粒構造の土。

・上澄み液で見る



1 コップに土と水を入れてかき混ぜる。

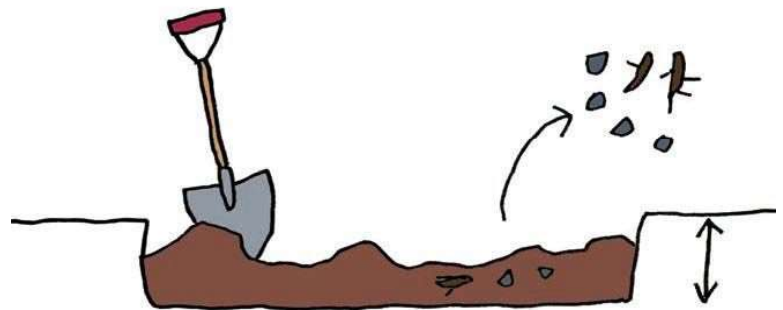


2 沈殿するスピードが速く、上澄み液がきれいなものほど団粒化した土。

土づくりをしよう！

土づくりは花づくりの基本です。今まで何も植えられていないようなところや、土が硬くなっているようなところは、土壌改良が必要です。

30cm くらい掘り起こして耕し
柔らかくします。雑草や木の根、
石などは取り除く。

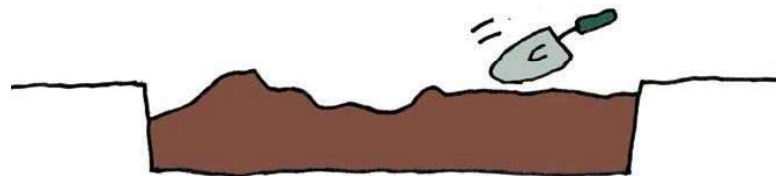


腐葉土などの有機物を、1 m²
あたり 20L 程度混ぜ合わせる。

粘り気の多い土（水はけの悪い
土）は、パーライトを1 m²あた
り 10L 程度加える。



粘り気の少ない土（水、肥料
もちが悪い土）は赤玉土、ピー
トモスなどを1 m²あたり 20L
程度加える。



酸度調整には苦土石灰を1 m²
あたり 100g 加える。（年一回
程度）

元肥には、緩効性肥料（固形
肥料）を1 m²あたり 50g か、
化成肥料を1 m²あたり 100g
混ぜ合わせる。

苗を準備しよう

苗を準備する方法は2つあります。

苗を購入して植える



種をまいて育てる



種まき用の容器 地面に直接まく。
資材を使う。

次ページから、種まき用容器
(セルトレイ) を用いての
育苗方法を紹介します。

よい苗の選び方

避けたい苗

ヒョロッとして株元がぐらつき、
節と節の間が間伸びしている。



よい苗

全体ががっしりしていて、株元
からよく分枝し、葉の色が濃い。



種からの苗づくりに挑戦しよう！

1 種まきを成功させるコツ

植物の発芽には、水、酸素、温度の3つが必要です。

- 1 清潔な用土を使う！ →病原菌を持ち込まないこと。
- 2 適期に種まきする！ →過度な高温や低温では発芽しません。
- 3 種に土をかけすぎない！ →種の種類により覆土の量が異なります。
- 4 乾燥させない！ →発芽するまでは絶対乾かさないこと。

2 種まきに必要なものを準備しよう

- ☐ セルトレイ
- ☐ 種まき用土
- ☐ バーミキュライト（覆土用）
- ☐ 種
- ☐ 竹串 or 爪楊枝
- ☐ 新聞紙
- ☐ 霧吹き
- ☐ バット （セルトレイが入る大きさ）

3 種まきの手順

① 種まき用土に水をなじませる

用土を軽く握って固まる程度の水分がベストです。

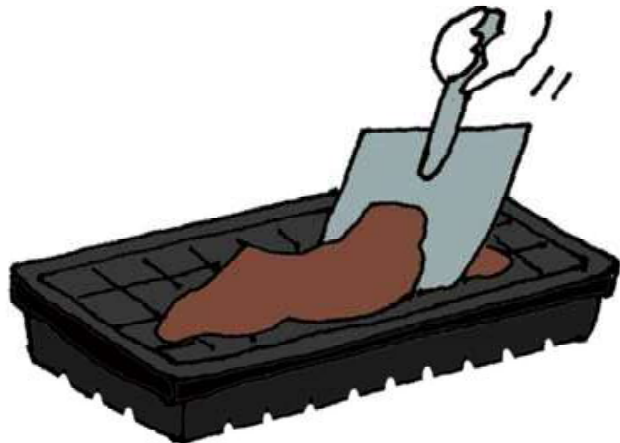
種まき用土は、ピートモス（ミズゴケが湿地で体積、変質したもの）を主原料としたものが多く、ジョウロで水をかけても吸水しにくい性質があるためです。



② セルトレイに種まき用土をつめる

均一につめることが重要です。特に外側のセルには十分用土をつめるようにしましょう。

セルトレイは、用土をつめる前に必要な分だけ切り分けておくと無駄がありません。

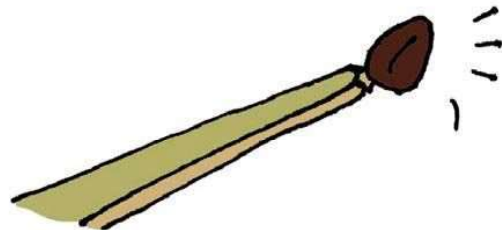


③ セルに種をまく

草花の種は野菜に比べると小さいものが多いです。まきにくい場合は、濡らした竹串の先端に種をくっつけてまきましよう。

押し込む必要はありません。

種の保存状態が良ければ、発芽率が高いので1個のセルに1～2粒ずつまいていきます。



④ 土をかぶせる

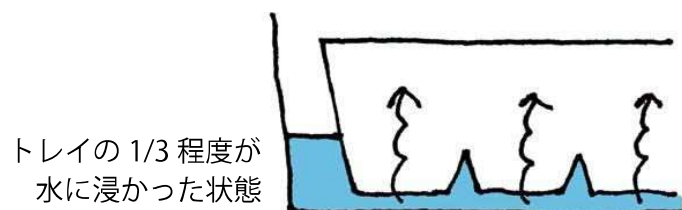
光が当たっているとうまく発芽できない種には、土をかぶせます。

バーミキュライト（鉱石を加工して作られる無菌の用土）で覆土します。覆土が厚すぎると発芽がそろいません。種が隠れる程度の薄い覆土を心がけましょう。



⑤ 水を与える

水を張ったバットの中にセルトレイを浸けます。ジョウロなどで上から水をかけると、種が流れてしまいます。セルトレイへのかん水は、発芽がそろそろまで底面吸水をおすすめします。



⑥ 新聞紙をかぶせ、霧吹きで濡らす

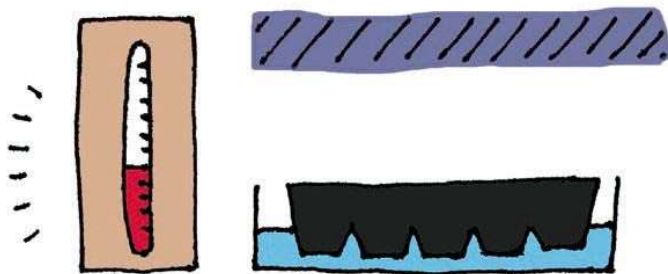
新聞紙で覆っておくことは、乾燥を防ぐ上でもとても効果的です。ただし、発芽をし始めたらすぐに取り除きましょう。徒長（日照不足などから、植物の茎や枝が間伸び）して軟弱な苗になってしまいます。



4 種まき後の管理

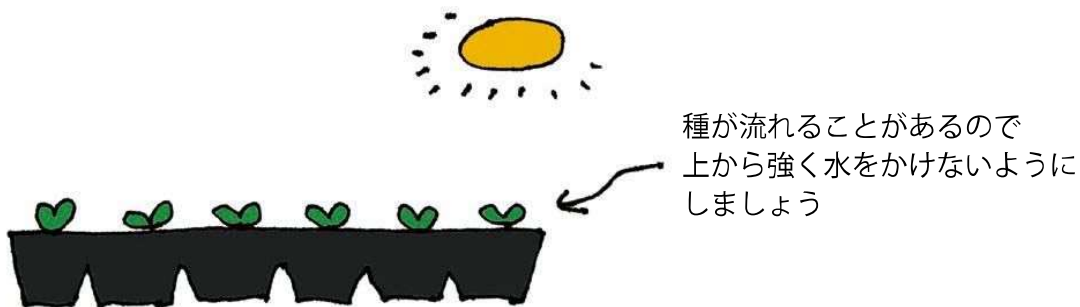
○ 発芽するまで

種の種類にもよりますが、20℃程度に保つと3～14日で発芽します。
また、発芽までは十分な水分が必要です。
適切な場所に置きましょう。直射日光や雨の当たるところは厳禁です。



○ 発芽してから

外部の環境に慣らしましょう。徐々にかん水量を増やし、徐々に光に慣らしていき、日光に当てましょう。
乾いたらかん水することが基本です。3回に1回程度薄い液肥をかけましょう。



苗を植えつけよう

植えつけの基本

植えつけ前日に湿らせます。



根がまわりすぎていたら底面や側面をほぐしましょう。



根元にたっぷりと水を与えましょう。

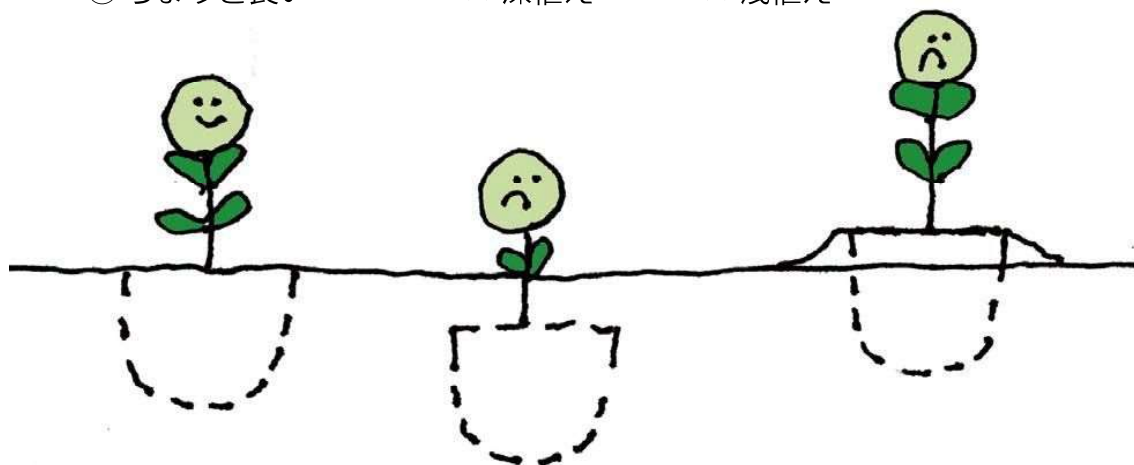


植えつける深さは、苗の地際（根元）に表面と花壇の土の表面が同じになるように植えます。深植えになったり、逆に水をやったときに周りの土が沈んで苗の根鉢に部分が浮きでてしまうような浅植えにならないように注意しましょう。

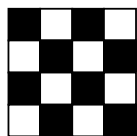
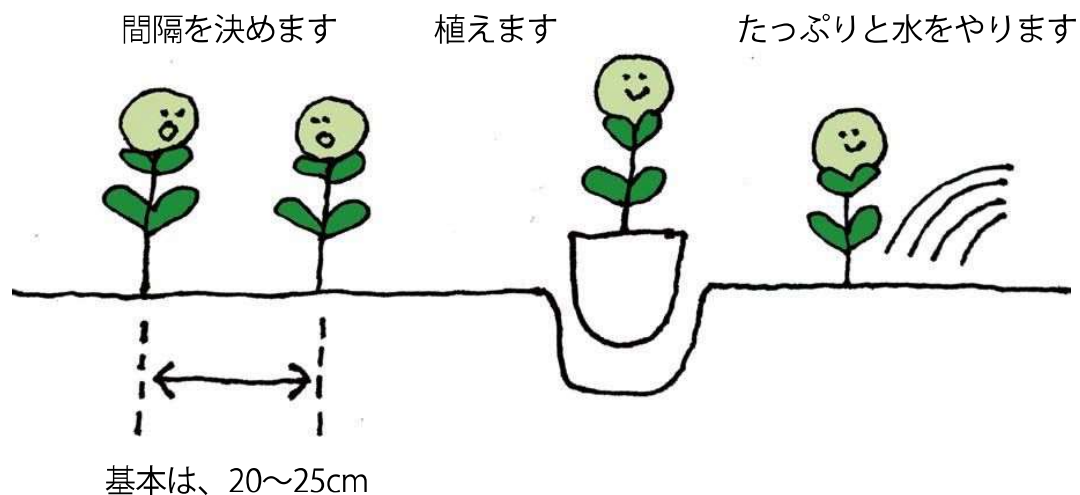
○ ちょうど良い

× 深植え

× 浅植え



花壇・植樹帯への植えつけ



苗の配置は、千鳥植えにすると通風や採光が良くなります。
植物が育つ大きさを考えて間隔を決めましょう。

かなり横に
ボリュームが出るもの

姿があまり
変わらないもの

ルピナス
宿根草などの
植え替え不要な
植物

30cm~

ノースポール
マリーゴールド
ビオラ
ジニア
ペチュニア
ブルーサルビア
ポーチュラカ
ニチニチソウ

25cm

サルビア
キンセンカ
センニチコウ
ワスレナグサ
キンギョソウ

20cm

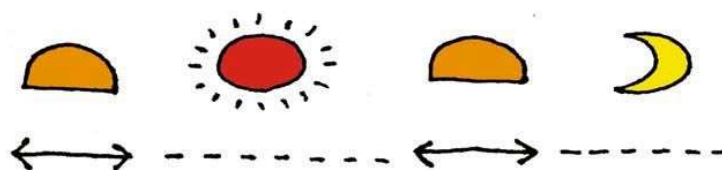
プリムラジュリアン
シクラメン
ミニハボタン

15cm

苗を植えてからの日々のお手入れ

1 水やり

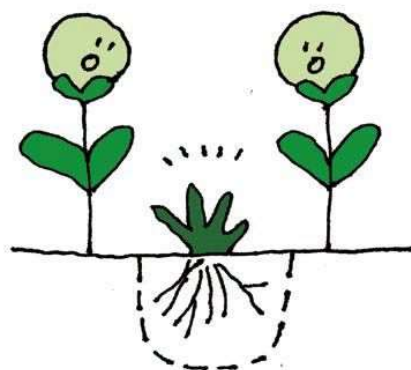
水やりは植物の根元に、朝や夕方気温の高くない時間帯に行いましょう。土の乾燥は、目で見ると触ってみるとわかりやすいです。葉がしおれ気味になったら水やりが必要です。



頻繁に水を与えすぎると根が弱くなったり、葉や茎がぬれた状態が続くと病気の原因になります。「乾いたら たっぷり 株元に」水を与えましょう。

2 除草

雑草は土の栄養分を吸い取ってしまうほか、花壇の見栄えを悪くしてしまうので、根ごと取り除きます。雨が降ったあとなど土が湿っていると取りやすいです。なるべく小さいうちに取しましょう。



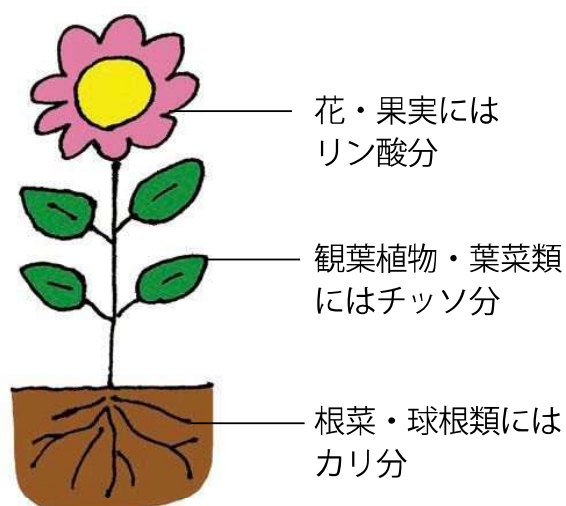
花壇の場合、株が地面を覆ってくるまでの間に、いかに除草するかがポイントとなります。熊手などで株間を軽く耕すことで、雑草の発生を抑えられます。空気の通りも良くなり、花の根の生長も促進されます。

3 肥料

肥料はその成分の働きに応じて、植物が最も必要としているものを、最も必要としている時期にほどこすのがポイントです。また、肥料の効き方は①ゆっくり長時間効く「緩効性」、②効き始めるのが早い「速効性」、③効き始めるのが遅い「遅効性」の3タイプがあります。固形肥料は緩効性、液体肥料は速効性が一般的です。

○ 追肥（ついひ、おいごえ）

花期の長いものは肥料を定期的に与えましょう。肥料切れを起こさないように苗を植えてから1～2ヶ月後程度を目安にしますが、最初に与えている肥料の量にもよるので、植物の状態を見て調整しましょう。薄い液肥をかん水がわりに与えるのも効果的です。



○ 施肥のサイクル例

植物名	春	夏	秋	冬
1～2年草 ペチュニア ベゴニア サルビア	植えつけ 追肥	開花 追肥（開花期の長いものは続ける）		
宿根草 マツバギク ナデシコ	植えつけ 追肥	開花 追肥	生育中 追肥	越冬 やらない
宿根草 ゼラニウム	植えかえ 追肥	開花 追肥	休止 開花 追肥	越冬 やらない

4 花がら摘み

パンジーやベゴニア、マリーゴールドなどは、次々と新しい花を咲かせてきます。同時に古い花は次々と枯れてきてしまいます。咲き終わって枯れた花は花がらと呼ばれ、残しておくと病気やカビの発生源になったり、種がついて花つきが悪くなってしまったりします。

① 花が老化してきたら花がらを摘みます

花の根元から摘み取ります。花びらだけ取っても種ができてしまうので注意しましょう。マリーゴールドの場合は花の部分だけを摘み取ります。

② 摘み取った花がらは残さないこと

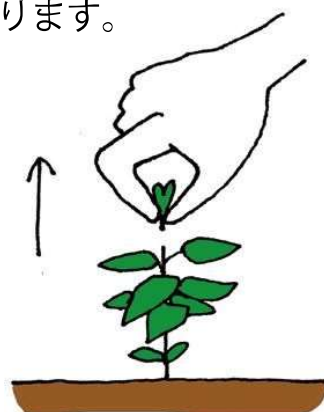
摘み取った花がらに病原菌が繁殖してしまいます。確実に捨てましょう。

5 摘心・切り戻し

○ 摘心

サルビアやダリア、キンギョソウなど、丈が高く生長する植物をそのまま育てると、上に伸びるばかりで花も少なく、バランスの悪い株姿になってしまいます。あらかじめ小さいうちに、一番上の芽を摘み取ってやりましょう。わき芽が生長し、ボリューム感のある株姿になります。

芽の先端部分だけを摘み取ります。
ハサミは使わず、指先やつめを使って2葉だけを摘み取りましょう。



○ 切り戻し

花苗は植えたままにしておくと、いつの間にか姿が乱れたり、間伸びしたりするので、乱れた枝を切り詰めます。

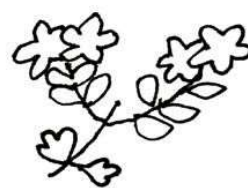
ペチュニアの場合



草姿が乱れてきたら
切り戻しを行います



茎を 1/3 の長さに
切り戻します
この時肥料を与えます



わき芽が生育し、
一斉に開花してきます
また乱れれば繰り返します

6 病害虫対策

植物の元気がないな、と感じたときは原因を突き止めて、適切な対処をすることが大切です。管理方法を改善すれば、元気になる場合も多いです。農薬には病気用と害虫用があります。病気用には予防効果がありますが、害虫は発生した後からの散布でないと効きません。



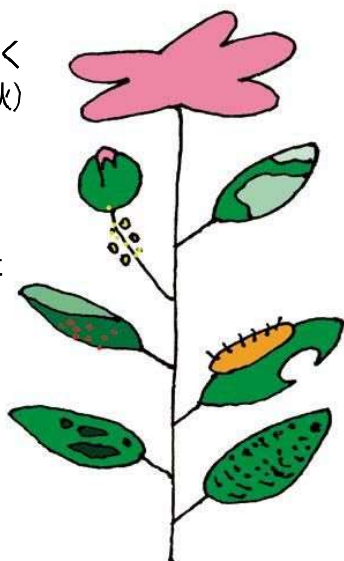
小さくて茎や蕾に多数つく
アブラムシ (春・秋)



葉の裏にごく小さな虫がつく
葉の色が白くかすれた
ようになる **ハダニ** (夏)



黒くなって腐り、
だんだん広がる
細菌による病気



葉が白っぽくなり、
だんだん広がる
カビによる病気
うどんこ病など (春～秋)



大きくて葉を食べる
アオムシ、ケムシなど
(春～秋)

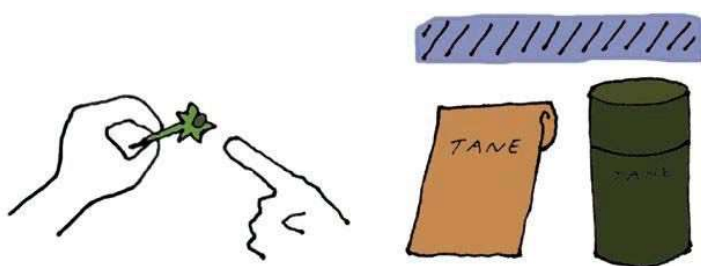


モザイク状の模様が出る
ウイルスによる病気
(特効薬がないので、
株ごと処分する)

花が終わったあとのお手入れ

1 種とり

花が終わったもののうち、いくつかの花がらを摘まずにくと種ができます。褐色になってきたら花茎から切り取って日陰で乾かし、種をとります。



種の保存は乾燥と低温が必要です。茶筒や紙袋などに入れて冷暗所に保存しましょう。

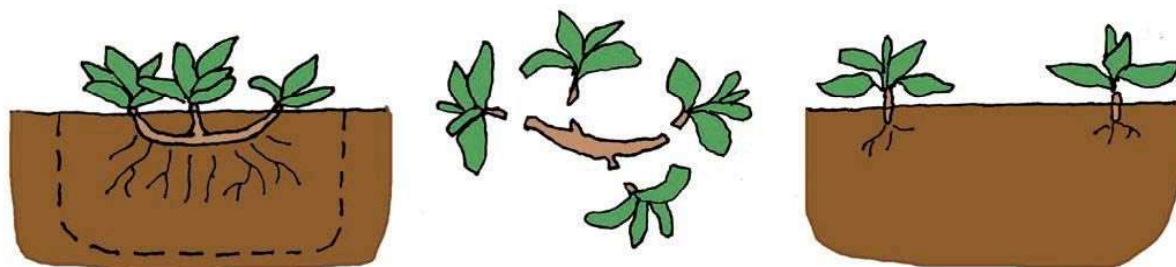
ペチュニアなどは熟すと自然に種を飛ばすので、その前に実をとみましょう。

2 株分け（多年草・宿根草）

多年草や宿根草は、長期間植えたままにしておくと株の中心部が枯れたり、根詰まりを起こして生育が悪くなりがちです。植えて2～3年経ったら、一度株を掘り上げましょう。堆肥や腐葉土などを入れて耕し、土の状態を良くしてから、古い葉や傷んだ根などをとって植え戻します。

このとき、大きくなりすぎた株は株分けを行いましょう。多年草は花が咲き終わった直後で一段落ついた頃、宿根草の多くは、秋または早春に行います。1株に2～3芽がつくように手かハサミで分けます。

宿根草の株分け



根茎で増えるタイプは、注意深く掘り起こす。

2～3芽つけて、分岐部分を切り分ける。

新芽が伸びるゆとりを持って植える。

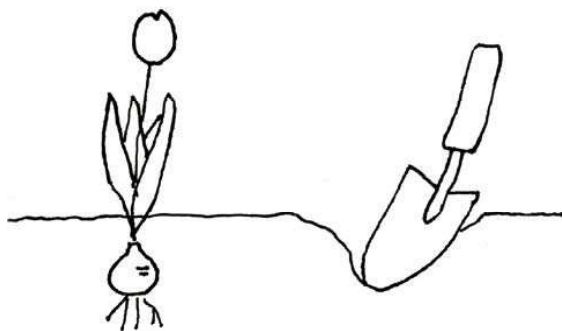
3 あとかたづけ（一年草・球根）

一年草のあとかたづけ

花が咲き終わった一年草は根ごと掘り起こし、土を落として処分します。花壇の土は全体的に掘り返しておきましょう。

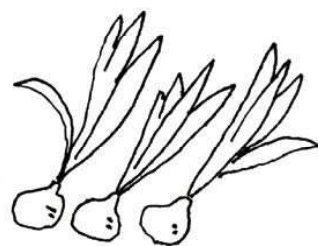
球根を育てよう

球根を太らせるためには、花後にすぐ葉を切らずに、しっかり管理をします。



花後にカリ分の多い
肥料を与える。

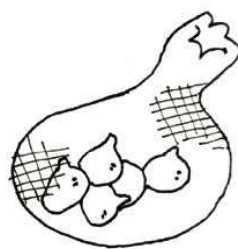
葉が 1/3 ほど枯れたら
球根を掘り上げる。



葉をつけたまま、一週間
くらい日陰で乾燥させる。



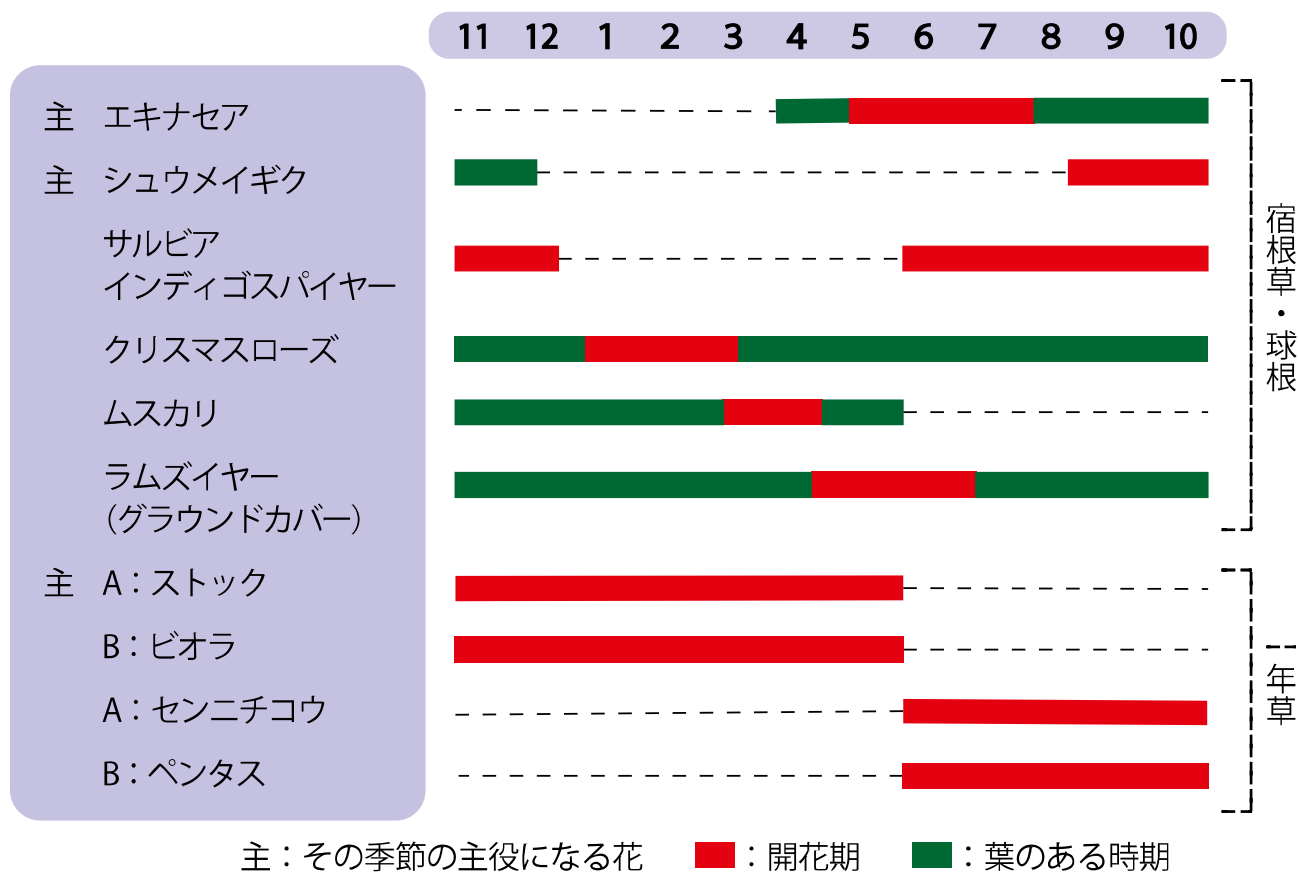
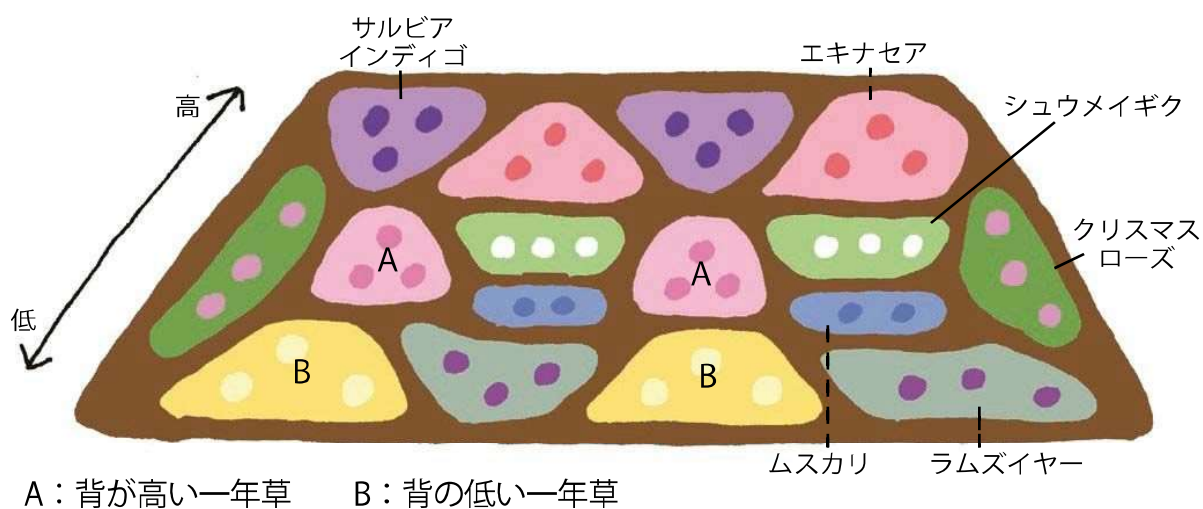
葉が全部枯れたら
切り落とす。



ネットに入れ、風通しの良い
ところで貯蔵する。

ガーデンデザイン実例集

ここでは、一年草と宿根草、球根類を組み合わせた花壇のデザイン例を紹介します。



花の種類が決まったら、開花期、葉のある時期などを書き込んだ年間カレンダーなどを作ると、開花時期の偏りなどがひと目でわかります。

デザインのアレンジ例

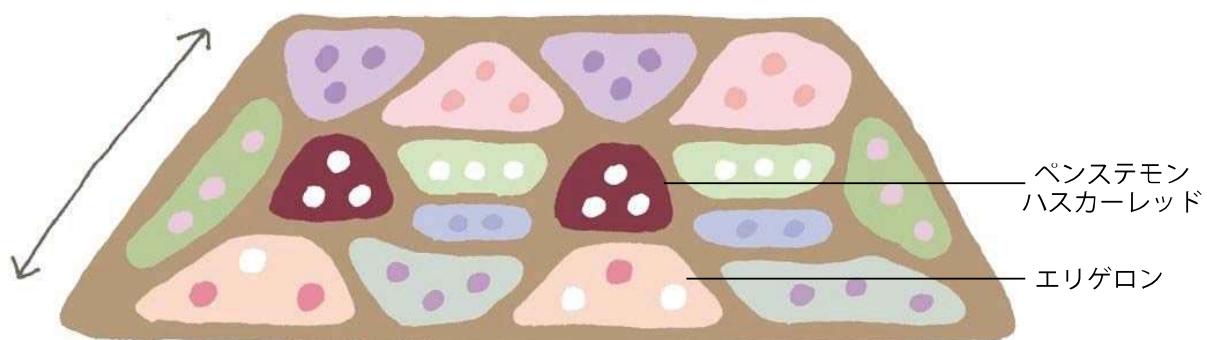
☆宿根草をバラ（四季咲き）に置き換えてみる



シュウメイギクを、育てやすく丈夫な四季咲きバラ ノックアウトに変更し、エキナセアの位置も移動します。

☆一年草を宿根草に置き換えてみる

なかなか手がかけられなくても、植えっぱなしで楽しめる花壇に！



一年草がなくなると華やかさは減るが、植え替えの手間がなく植えっぱなしで楽しめます。

花づくり植物図鑑

夏から秋にかけて咲く一年草

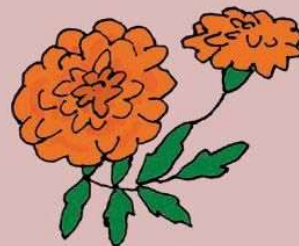
サルビア

開花：6～11月
色：赤、ピンク、紫、
白、青、複色
高さ：20～160cm



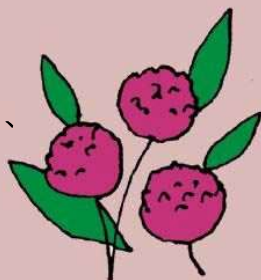
マリーゴールド

開花：6～10月
色：橙、黄
高さ：20～25cm



センニチコウ

開花：5～11月
色：白、赤、ピンク、
黄、紫
高さ：15～70cm



ジニア

開花：5～11月
色：白、赤、ピンク、
橙、黄、緑、複色
高さ：15～100cm



ニチニチソウ

開花：6～9月
色：白、ピンク、赤
高さ：20～50cm



ポーチュラカ

開花：5～10月
色：白、赤、ピンク、
橙、黄、紫、複色
高さ：地面に張り付くようにほふくする



ペチュニア

開花：3～11月
色：赤、ピンク、青、
紫、白、黄、複色
高さ：10～30cm



トレニア

開花：5～10月
色：青、紫、白、
ピンク
高さ：20～30cm



冬から春にかけて咲く一年草

パンジー・ビオラ

開花：12～5月
色：白、黄、橙、青、
紫、他
高さ：20～30cm



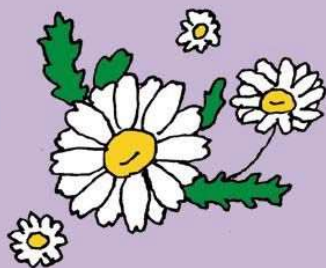
スイートアリッサム

開花：12～4月
色：白、ピンク、紫
高さ：10～30cm



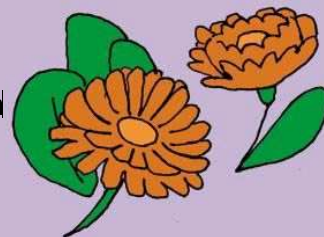
ノースポール

開花：12～6月
色：白、黄
高さ：20～30cm



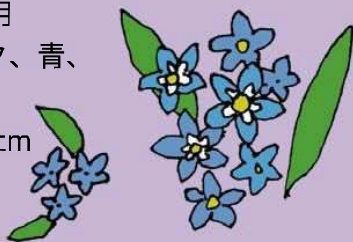
キンセンカ

開花：10～5月
色：白、黄、橙
高さ：30～60cm



ワスレナグサ

開花：3～6月
色：白、ピンク、青、
紫
高さ：10～50cm



プリムラ

開花：11～4月
色：紫、黄、ピンク、
赤、橙、クリーム色、
青、褐色、紫、複色
高さ：5～15cm



キンギョソウ

開花：4～6月
色：白、黄、ピンク、
赤、橙
高さ：20～100cm



ルピナス

開花：4～6月
色：白、赤、ピンク、
橙、黄、紫、複色
高さ：20～150cm



宿根草・低木類

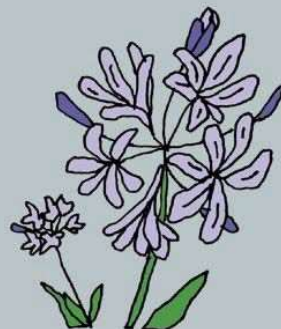
ブルーサルビア

開花：5～11月
色：青、紫
高さ：25～40cm



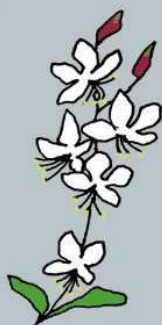
アガパンサス

開花：6～7月
色：青、紫
高さ：50～100cm



ガウラ

開花：5～11月
色：白
高さ：80～100cm



エキナセア

開花：6～8月
色：赤、ピンク、橙、
白、緑
高さ：30～100cm



クリスマスローズ

開花：1～4月
色：白、ピンク、緑、
紫、黄、黒、アプリ
コットなど
高さ：30～60cm



ユリオプスデージー

開花：11～5月
色：黄
高さ：90～100cm



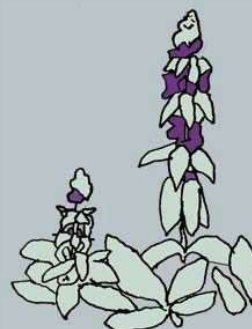
シロタエギク

開花：周年
色：黄
高さ：10～30cm



ラムズイヤー

開花：6～8月
色：黄
高さ：30～80cm、
株は横に広がる性質
がある



MEMO

宇部市ガーデンシティ緑化運動推進委員会
(事務局：宇部市都市政策部公園緑地課)

宇部市常盤町一丁目7番1号

TEL: 0836-22-8485

FAX: 0836-22-6050